

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 129	提案機関名 (社)神奈川県園芸協会(県果樹組合連合会)
要望問題名 ナシの新梢先端に発症する、まだら模様の原因解明と対策について	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 ナシの新梢先端に発症するまだら模様(モザイク症状)が問題となっている。一部でサビダニが原因と言われていますが、明確な解明はされていない状況にあるので、原因究明と効果的な対策技術の確立をお願いします。また、ウイルスとの関連も含め、検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部病害虫研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ナシの新梢先端に発症するまだら模様(モザイク症状)は、熊本県から、ニセナシサビダニが原因で、冬期のマシン油散布で被害が軽減するという報告がされています。本県で認められる症状もニセナシサビダニによるものと考えられますので、他県の防除事例を参考にさせていただくとともに、他県で実施されている農薬の防除効果および農薬登録の進行状況については随時情報提供します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			